

一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

質問内容

- ・税外負担の再検討を
- ・春と秋の誘客増加策は
- ・冬季国体を村民総参加で
- ・自転車利用者の誘客策は
- ・地域で安心・安全に生活するには
- ・支え合いセンターの建設数は
- ・自然環境保持のためにゾーニングを
- ・村長の行政姿勢について



未曾有の雪不足が白馬村経済を急襲

2015－16スキーシーズンは、1月の中旬になっても、降雪量が非常に少なく、本村の基幹産業である観光事業を直撃し、除雪事業にいたっては、2日間実施されたのみでした。このような状況の中で、本村の経済活動に重大な影響を及ぼす恐れがあると、村では1月8日付けで「白馬村寡雪対策本部」を設置しました。

対策本部は、①寡雪状況に伴う情報の収集②関係機関との連絡調整③住民及び村内事業所に対する支援④寡雪状況対策の4項目です。また、白馬商工会・村内金融機関・県信用保証協会でも、寡雪状況に伴う相談窓口が設置され、経営・金融相談が実施されています。

12月27日～1月5日の年末年始のスキー場の入込は、134,000人と対前年84%で、これは近年最低だった平成23年を下回ったと報道されており、白馬商工会が昨年暮れに行った、宿泊キャンセル等のアンケート調査では宿泊被害などは相当額に昇るという事です。これは年末年始の状況であり、1月の3連休も事態が改善されず、さらに被害額が拡大していると想定され、最悪にはスキーシーズンの大幅な短縮も懸念されます。

この状況を鑑み、議会でも現況把握に努め、住民及び村内事業所の要望等に対し、行政に政策提言をしていきたいと思っています。